日本工学院八王子専門学校開講年度				2019年度(平成31年度) 科目名 シャシ整			シャシ整体			
科目基礎情	 青報		•	•						
開設学科	一級自動車整備科		コース名なし			開設期	後期			
対象年次	2年次		科目区分 必修				時間数	78時間		
単位数	2 単位		授業形態 実習					•		
教科書/教材	す 適時レジュメ・資料を配布する。			参考書・参考資料などは、授業中に指示する。/実習車、実習教材など						
担当教員情	青報									
担当教員	圷裕光、西野佑	吾、須藤	竜二、和田)	告、増澤健、	赤岡秀紀	実務経験の有	無・職種	有・一級自	自動車整備士、自動車整備士	
学習目的	•							•		
			_						引みを知り、基礎的な自動車整備技術	
									スミッション等、動力伝達装置の内部 自動車整備の基本である法定点検作	
	· けるのと同時に、							と注所する。	白到半年間の季中でのる広に思快下	
到達目標										
									、ヤ・ホイールの点検整備を正確に行 ないを身に付けること、シャシ構造の	
									理解し作業環境を整えることの重要	
性から学び	、安全で正確な点	点検整備作	作業が出来る	ようになる	ことを目標と	する。				
教育方法等	<u>*</u>									
秋月刀 法等	<u> </u>	シ関係の	整備宝羽を	エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エー・エ	作業を行う	マとでチートワ-	- クを学び	白ら効率と		
122 244 113T THE	自動車のシャシ関係の整備実習を通して、共同作業を行うことでチームワークを学び、自ら効率よく作業することを繰り返し練習することで主体性を持って学べるようになることを目指す。結果として、自動車の基本的なシャシ構造理解し、ブレーキ装置及び、タイヤ・ホ									
授業概要	イールの点検整備が出来るようになる。事前学習、復習をしっかりと行い、安全で正確な点検整備作業を身に付ける。									
	党生問・教員	と学生の	コミューケ-		看相する 授	業中の私語や受	善能度かどに	- 1+ 厳 1 く 対	 応する。授業に出席するだけでなく、	
›› ᄼ ᆇ ᅩ	社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める(詳しくは、最初の授業で説明)。教員の指示に従い、勝手な作業を									
注意点	行わないこと。不明な点は教員に確認し、理解を深める努力をすること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は補習が完了する									
	まで評価を行わ 種別	ない。ま 割合	た出席確認日	時に遅刻の場	易合4時間の	欠席となる。				
評	試験		試験を総合	的に評価す	トる		1/# 75			
価										
方										
法										
122 MK = 1 -	(15 105)	\•/ -	III 나 다 V WE	ヹゖ゙゙゙゙゙゙゙゙゠゠゚		L 19				
			習内容や順	番は変更す T	る可能性が	ある 				
	授業内容			各回の到達目標						
1 🗆	ブレーキ装置①(グループワーク)		様々な自動車のブレーキ装置の点検整備技術を身に付ける							
2 回	ブレーキ装置②(グループワーク)			実車を用いてブレーキ装置のオーバーホール技術を身に付ける。						
3 回	トランスミッション①(グループワーク)			実車を用いて自動車のトランスミッションの取り外し方法を理解する						
4回	トランスミッション②(グループワーク)			実車を用いて自動車のトランスミッションの取り付け方法を理解する						
5回	トランスミッション③(グループワーク)			実車を用いて自動車のトランスミッションの点検及び調整方法を理解する						
6 回	電動パワーステアリング(グループワーク)			電動パワーステアリングの脱着方法を理解する						
7 回	ABSシステム(グループワーク)			ABSシステムの点検及び故障診断方法を理解する						
8 回	タイヤ・ホイール(グループワーク)			タイヤの分解及び組み付け方法を身につける						
9 🗓	サスペンション(グループワーク)			実習車を用いてサスペンションの分解及び組み付け方法を身に付ける						
10回	総合整備作業(グループワーク)			自動車のシャシ構造における点検整備作業を身に付ける						
1										